



Q1 算数

正解: ② 約40ヘクタール

【解説】

皆さんが普段良く使っているセンチメートルやグラムは、「メートル法」と呼ばれる単位系の単位です。メートル法では、「ヘクタール」や「平方メートル」といった単位で面積を表します。問題にある「エーカー」は、「ヤード・ポンド法」と呼ばれる単位系での面積を表す単位です。20世紀までは、『くまのプーさん』の原作者、A・A・ミルンの国・イギリスでも使われていたそうです。

「ヘクタール」も「エーカー」も、面積を表す単位ですが、二つを比べるときは、注意が必要です。というのは、単位系が違くと、同じ重さや長さのものを違う数字で表すことがあるからです。たとえば、長さの単位でヤード・ポンド法とメートル法とを比べると、

1ヤード = 約0.9メートル です。

同じように、面積の単位を考えると、1エーカー = 約0.4ヘクタールです。

さて、プーさんの森は、100エーカーですから、100エーカー × 0.4ヘクタール

正解は②の約40ヘクタールです。

世界には、長さや重さを表す単位が何種類もあります。中にはミッキーマウスに由来する、「ミッキー」という単位(パソコンのマウスの感度を表す単位)もあります。1ヘクタールは1万平方メートル(100m×100mの正方形)です。

プーさんの住む森は、皆さんの学校の校庭のいくつ分くらいでしょうか? 想像してみましょう。

【自主学習】

広さや長さ、重さの単位のことを、今ではほとんど使われなくなりましたが、日本でも独自の度量衡が使われていました。どの様な単位だったのか、また、現在もその名残が残っているものの名前を調べてみましょう。

Q2 国語

正解: ④ □に小判

【解説】

■①の□に入るのは、「猿」です(猿も木から落ちる)。猿のような木登りが得意な動物でも、木から落ちてしまうことがあるということから、どんな名人でも失敗をしてしまうことがあるという意味合いのことわざです。

■同じような意味合いのことわざが、「②□の川流れ」です。□にはいるのは、「河童(かっぱ)」なので、「河童の川流れ」となります。河童のような泳ぎの得意なもので川で流されてしまうことがあるということから、どんなに上手な人でも、時には失敗することがあるという意味合いのことわざです。

■「③□に真珠」の□に入るのは、「豚」です(豚に真珠)。真珠のような高価で価値のあるものを豚にあげてもその価値がわからないということから、どんなに価値のあるものでも、その価値がわからない人にとっては何の役にも立たないという意味合いのことわざです。

④「□に小判」の□に入るのは「猫」です(猫に小判)。これも、③の豚に真珠と同様、どんなに価値のあるものでも、その価値がわからない人にとってはどうでもいいという意味合いのことわざです。小判とは昔のお金です。猫はお金を使いませんので、小判(お金)がいくら価値のあるものであったとしても、猫にとってはどうでもいいものです。

ワンポイント

ミッキーをはじめ、ディズニーにはネズミをモデルにしたキャラクターが多いですが、ネコをモデルにしたキャラクターもあちこちで見られます。『おしゃれキャット』のマリーや、『ピノキオ』のゼペットじいさんが飼っているフィガロが有名です。

【自主学習】

このほかに動物の名前がでてくることわざを探してみましょう。

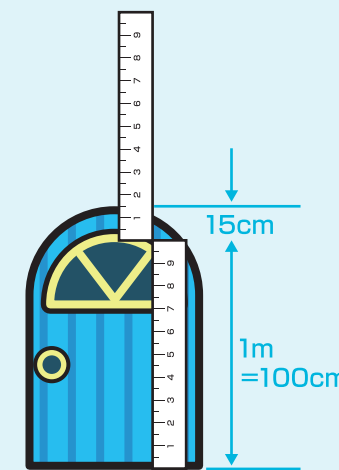
Q3 算数

正解: ③ 115cm

【解説】

1mのものさしで計ってみますと、下のようになります。この扉は、ものさし1つと15cmだったので、1mは100cmですから

100cm+15cm=115cmとなります。



Q4 音楽

正解: ② 太鼓

【解説】

写真に写っているのはトーキングドラムといいます。

トーキングドラム [talking drum] とは、言葉のやりとりによっていろいろな情報をやりとりするのではなく、太鼓のさまざまなリズムの組み合わせによって、伝えるものです。アフリカの一地方で主に用いられ、出生やお祭りなどの際に行う情報の伝達に、使われています。

「太鼓」というと、皮の張ってあるものが私たちにはおなじみですが、木魚のような形をしたものも、トーキング・ドラムと呼ばれています。

ワンポイント

東京ディズニーリゾートは、いつも楽しい音楽や効果音にあふれています。そうした音楽や音響を楽しむだけでなく、キャラクターが楽器を演奏する様子も見ることが出来ます。東京ディズニーシーのビッグバンドビートでは、ミッキーがみごとなドラム演奏を見せてくれます。

【自主学習】

「太鼓」の仲間分類される楽器は、古くから世界中にあります。様々な国々の伝統的な楽器にどのようなものがあるか、また、音楽を奏でること以外にどのような目的で使われているか、調べてみましょう。

Q5 算数

正解: ② 27m

【解説】

右図から、端から端の長さ=街路樹の間隔数×間隔の長さとなります。

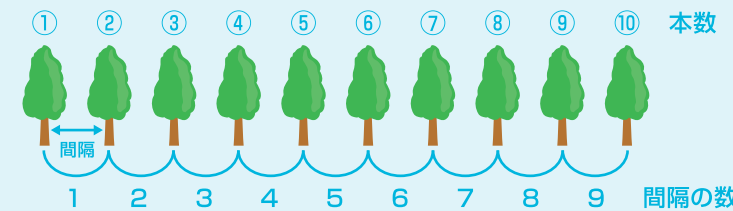
さらに、下図を見ると、街路樹の間隔の数は、街路樹の本数よりも1つ少なくなっていることが分かります。

ここでは、街路樹の本数は10本なので、街路樹の間隔の数は、10-1=9で9本です。

ここで 街路樹の間は、3mなので、端から端の長さは、

$$9 \times 3 (m) = 27 (m)$$

となります。



ワンポイント

木を植える間隔や、植える木の本数、並木の長さなどを求めるものを「植木算」といいます。道の両側に木が植えられている場合の間隔の数は、植木の数よりも1つ少なくなります。